

しちがはま

議会だより

No. 127

平成28年4月28日
宮城県七ヶ浜町議会

未来に向かって

あれから5年！

特集	28年度 予 算	復興・創生へ	2
		基金条例の制定及び改正について	10
		観光振興の推進を など	7人が質問 16
		おらほのサークル紹介シリーズ ー第8回ー	24

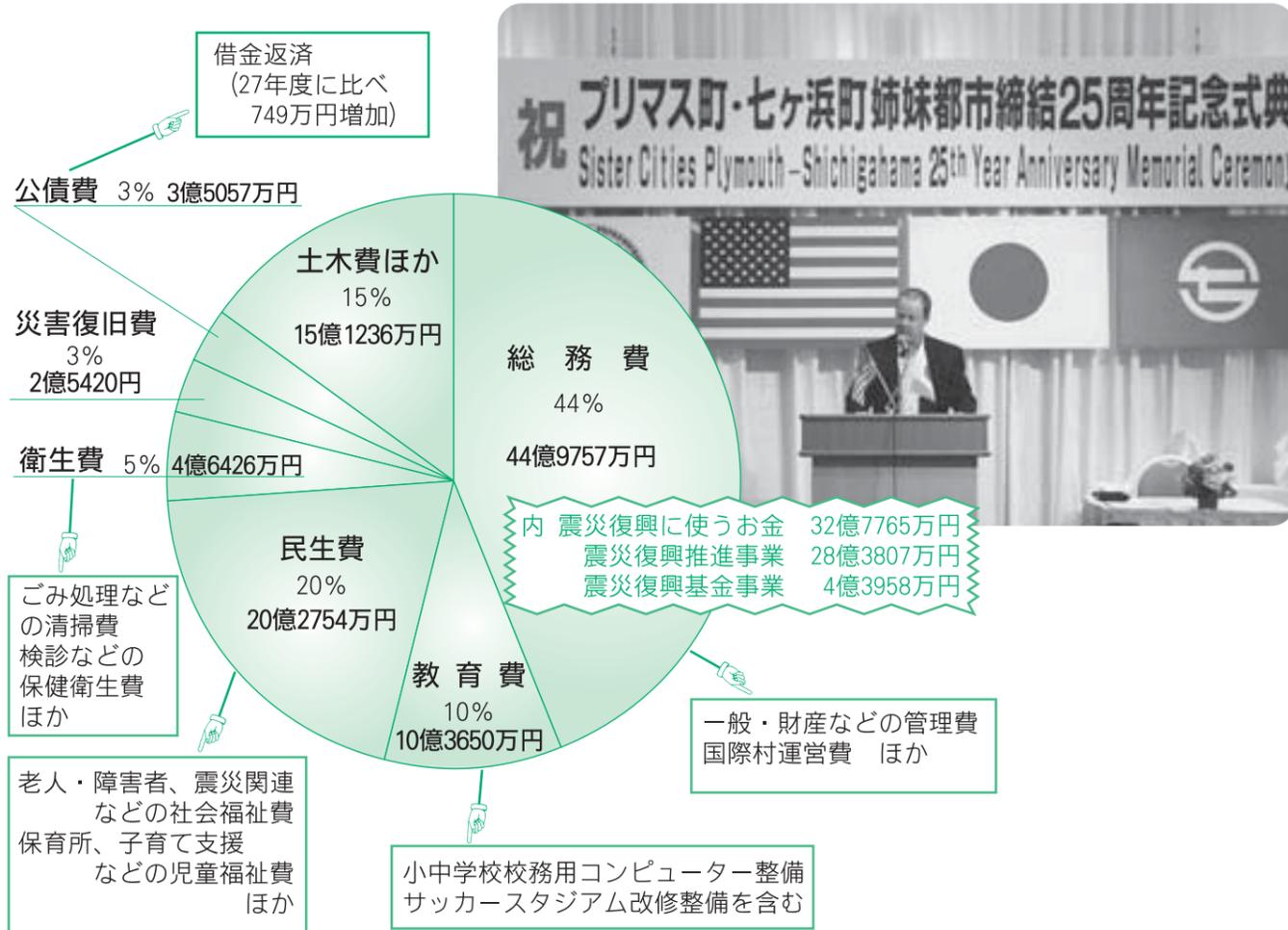
平成28年度 一般会計は
101億4300万円
でスタート

震災復興の推

進と人材育成に

3月
定例会

歳出 使いみち



歳入 財源



3月定例会を3月2日から16日までの会期で開催しました。震災から5年が経過し、復興・創生に入る初年度となる平成28年度当初予算を中心に、災害公営住宅維持管理基金条例の制定や工事契約、27年度補正予算など35件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問は7人が活発な議論を展開しました。

主な取り組み

- 被災市街地復興土地区画整理事業および津波防災緑地公園整備を推進し、菖蒲田海水浴場をプレオープンします。
- 区画整理事業で整備した業務系用地の貸し出し募集に向けて準備を進めます。
- 世界に通用するグローバルな人材の育成として子どもたちの英語教育に積極的に取り組みます。
- 地域での見守り活動や支援が必要な方々への対応に取組みます。
- 「ぐるりんこ」の運行内容の見直しと、特に要望の多い通勤、通学者への対応など、早急な改善策を検討します。
- 地域ブランド化に向け、認定制度の創設や地場産品の開発に取り組みます。

施政方針 〈概要〉



町長 寺澤 薫

- ① 東日本大震災から5年になる今年。これまでの5年間は「復旧・再生」を主体として住宅再建を優先課題に進めてまいりました。今後は、「復興・創生」と政府の進める「地方創生」の動きなどを注視しながら、震災の復興と新たなまちづくりに向けて6つの政策を軸として進めてまいります。
 - ② 震災復興にかかる沿岸部の被災市街地復興土地区画整理事業および津波防災緑地公園整備の推進
 - ③ 人材育成
 - ④ 福祉の充実
 - ⑤ 地域力の構築
 - ⑥ 交通対策
 - ⑦ 地場産業への新たな挑戦
- 一般会計の予算規模は町制施行以来最大規模で編成した平成26年度以降大きく下回る減額編成となりましたが、本町にとって飛躍の年になるよう、新たなまちづくりを積極的に取り組んでまいります。

予算審査

平成28年度の各種会計予算審査は、特別委員会を設置して3月2日から15日までの日程で行いました。
各課ごとに説明を受けたあと、質疑・応答により慎重に審査しました。さらに総括質疑の申し出があり、町長からの回答に対し議員全員での質疑が行われました。その後、討論・採決の結果、全会計の予算を可決しました。主な内容を要約してお知らせします。(金額は千の位で四捨五入しています)



我妻 周悦 副委員長
佐藤 梶信 委員長

どのように使うのか 各課審査で質疑応答

建設課

環境に優しい融雪剤購入を (1000万円)

問 金属さびが発生しにくい等の環境にやさしい種類の融雪剤購入を検討できないか。
答 課長 予算は従来タイプで計上しているが、エコ融雪剤としての調査をしてみたい。



現在購入の融雪剤

町営住宅使用料の軽減措置は (2285万円)

問 家賃の軽減措置は恒久的なものか。
答 課長 契約してから20年間の軽減としている。

政策課

「ぐるりんこ」の新路線を検討 (3657万円)

問 予算は2路線の運行負担金である。新路線として多賀城とのシヤトル型直行や町内循環型等を検討するとあるが、検討時期は。
答 課長 かなりの予算を必要とするので、コストを含めこれからの検討としたい。



便利になるか、ぐるりんこ

問 昨年の住民懇談会から検討に時間がかかっている。具体的な検討と予算化ができたのではないか。
答 早い時期の検討を進めたい。

環境生活課

海岸漂着物処理の県補助金 (1220万円)

問 想定している海岸漂着物量と対象区域は。
答 課長 トラック運搬として170台で海岸線全域に該当する。
問 補助率は。
答 上限が150万円で80%の補助である。



湊浜の漂着物

LED街路灯の設置を続ける (366万円)

問 みやぎ環境交付金事業として設置される場所はどこか。
答 課長 汐見台5丁目から6丁目のバス通りを予定している。

財政課

公共施設の総合管理計画 (1274万円)

問 施設平準化としての転用や除却のためとあるが、対象施設は。
答 課長 役場施設全体を対象とし、資産の洗い出しを行う。優先順位をつけ施設の適正化を図るものである。
問 予算の根拠は。
答 事業が先行する市町を参考に積算した。

バスの更新計画は (予算なし)

問 防災バスやマイクロバス、ワゴン車の寿命が近づいているのではないか。平成28年度予算で更新の検討はしなかったのか。
答 課長 不具合があれば修理等に対応し、更新は将来的に検討したい。

問 タイヤ交換も含め、人命にも影響あることであり計画的な対応を要する。
答 副町長 計画性を持って対応したい。

教育総務課

グローバル人材育成事業に向けて (755万円)

問 教育課程とグローバル人材育成の関連は。
答 教育長 英語を通じたコミュニケーション育成は28年度を準備期間として29年度に本格化したい。その手順として
・ 文部科学省の特例分の指定を受けカリキュラム設定。
・ 教師全員を先進地での研修に派遣。
・ 外国人英語教師3人を採用し併せてキーとなる人材を配置する。



文化の交流も

公共施設の太陽光発電事業は (予算なし)

問 住宅用としての補助(990万円)は予算化されているが、アクアリーナ等の公共施設での設置は検討しなかったのか。
答 課長 アクアリーナでも設置の検討をしたが、強度上無理であった。

問 地球温暖化防止の観点から公共施設での設置を進める考えはないか。
答 副町長 政策的なことであり今後の検討課題としたい。



役場庁舎屋上の太陽光パネル

復興整備課



工事が進む花洲浜地区

従前地（被災地）の買取りが進む

（1億9452万円）

問 従前地（被災地）全域に対する進捗率は。

答 課長 99.8筆の内95%が終了し、47筆が残っている。



公園として整備（菖蒲田浜地区）

健康増進課

妊婦健診の助成は継続か

（32万円）

問 里帰り出産への助成の周知施策は。

答 課長 補助は継続する。主に母子手帳の交付時に案内している。



生まれてきてくれてありがとう

食育推進事業の効果と目標は

（38万円）

問 本事業の効果と今後の目標は。

答 課長 朝食摂取の改善はなされている。今後地場産品の利用の充実に図りたい。

生涯学習課

コミュニティセンターの管理

（26万円）

問 遠山・境山地区コミュニティセンターの周辺整備等の管理は誰が行うのか。また鍵の保管は。

答 スポーツ振興係長 職員を中心に利用者の協力を得て、一週間に一度の清掃を実施したい。鍵は中央公民館と遠山分館長が保管している。



有効に利用しています

男女共同参画事業の今後の実施は

（12万円）

問 本町の管理職に占める女性の参画比率と今後の取組みは。

答 いきいき楽習係長 14%程度と低い水準にある。震災時の避難所運営における女性参画を課題として取り組みたい。

国際村

グローバル人材育成講演会とは

（80万円）

問 グローバル人材育成プログラムにある講演会の講演者と聴講対象者は。

答 事務局長 講師には海外経験実業家等を考えている。教職員や国際交流に興味のある町民全体を対象としたい。

プリマス派遣希望の児童・生徒は

（754万円）

問 希望者が年々減少しているが対策は。

答 事務局長 対象者を小学6年から高校3年までと広げ、補助を10万円とした。対象年齢者にはダイレクトメール等での案内を行った。プリマスの紹介を改めて行う必要性を感じている。



歴史のメイフラワー号（プリマスにて）

地域福祉課

応急仮設住宅

不要備品の活用は（予算なし）

問 住宅解体時に発生するエアコン等の不要となる備品を町民に譲渡する考えはないか。

答 課長 仮設入居者は申請し再利用が可能であるが、一般人への譲渡はできない。公共施設等での再利用を検討している。

遠山保育所の改修調査

（500万円）

問 改修予定の内容は。

答 保育所長 入り口や廊下の雨天対策、園庭の排水対策を中心に改修したい。

問 建設時の不具合事項に対する調停の結果と今回行う改修調査の関連は。

答 調停の具体的な結論は出ていない。結論を待つことはできないので町負担での修理を促進せざるを得ない。

答 副町長 修理に際しては父兄からの意見聴取も実施したい。

健康増進課

はまぎく児童館の改築場所は

（6887万円）

問 改築場所と収容人数等は。

答 課長 汐見小の現在地を検討したが、急傾斜地の指定を受けていることが判明した。敷地内体育館裏の用務員建物を解体し建築する。和室の休憩室を設け、定員を80人に拡大する。



老朽化したはまぎく児童館

生涯学習課

松くい虫駆除の補助金は

（1331万円）

問 補助金の算出根拠は。

答 課長 国からの200万円と県から実施市町村の数量に応じて配分された額の合計となる。

問 現地に集積した伐倒木の落下事故が心配であるが、撤去はできないのか。

答 地理的条件で運び出しに多額の費用が掛かる場合は放置処理とする。民家や道路近くは優先的に処分する。

菖蒲田海水浴場のフレストーブン

（600万円）

問 7月29日から8月7日に海開きが計画されたが、事業補助金の補助先は。

答 課長 町の観光協会である。主な事業内容は、イベントの内容は未定だが、夜は花火を打ち上げたい。

答 副町長 核となる団体や協力グループ、実行委員会運営とするのか新年度に詳細な検討をしたい。

国際村

地域ブランド化を推進したい

（予算なし）

問 地域ブランド認定の予算や方法は。

答 課長 予算は総合戦略（地方創生）が国に採択されてからとなる。認定委員会を立ち上げてPRに努める。

特定健康審査は引き続き無料

（121万円）

説明 課長 28年度の特定健康審査の自己負担金は、財源確保の見通しがついたため昨年に引き続き無料となります。

被災者支援交付金の用途は

問 被災者支援総合交付金繰入金の用途は。

答 国保年金係長 特定健康審査のクリアアチーン検査に充当する。

産業課

コミュニティセンターの管理

（26万円）

問 遠山・境山地区コミュニティセンターの周辺整備等の管理は誰が行うのか。また鍵の保管は。

答 スポーツ振興係長 職員を中心に利用者の協力を得て、一週間に一度の清掃を実施したい。鍵は中央公民館と遠山分館長が保管している。

男女共同参画事業の今後の実施は

（12万円）

問 本町の管理職に占める女性の参画比率と今後の取組みは。

答 いきいき楽習係長 14%程度と低い水準にある。震災時の避難所運営における女性参画を課題として取り組みたい。

問 遠山・境山地区コミュニティセンターの周辺整備等の管理は誰が行うのか。また鍵の保管は。

答 スポーツ振興係長 職員を中心に利用者の協力を得て、一週間に一度の清掃を実施したい。鍵は中央公民館と遠山分館長が保管している。

答 副町長 核となる団体や協力グループ、実行委員会運営とするのか新年度に詳細な検討をしたい。

討論



…なので反対します



…なので賛成します

一般会計

反対 歌川 渡

復興事業は進展しているが、生活支援に関する財政支援が行われていないので次の点を含めて反対する。

- ①ぐるりんこの見直しが遅れている。台数増加や無料化を求める。
- ②災害公営住宅の共益費は町管理として家賃に含めるべきである。
- ③不要となる応急仮設住宅の備品を町民へ譲渡するべきである。
- ④非常勤勤務者の基本給や時給の引き上げを行おうとしない。
- ⑤教職員のパソコン整備を早め、5〜6月の稼働を求める。

賛成

岡崎正憲

施政方針における6つの政策軸を勘案し、次の点で賛成する。
 ①土地区画整理事業や津波防災緑地公園整備の少しでも早い実現に向けた計画性のある予算である。
 ②町民や復興に携わった支援者が待ちに待った菖蒲田海水浴場のプレオープンが予算化された。
 ③世界に通用するグローバルな人材の育成として、緻密で計画性のある事業の予算化がされた。
 ④ぐるりんこ運行形態の見直しと具体的な改善案を早急に示す姿勢がうかがえる。

下水道事業

反対 歌川 渡

一般会計からの予算繰入れや借入れ減額分の充当による使用料金の引き下げがなされていない。

国民健康保険

反対 歌川 渡

国の負担増加と町の独自補助により町民の負担軽減を求める。

賛成 鈴木初雄

医療費の一部負担免除が継続されている。生活習慣病のうち高血圧症を町の重点課題として対応している。

介護保険

反対 歌川 渡

年々、保険料が増加している。国や県の負担割合を増加させること。介護報酬の引き上げを求める。

賛成 遠藤久和

支援を介護支援センターが中心となり進めようとしている。

後期高齢者医療

反対 歌川 渡

高齢者の負担が増大するばかりで制度の不備が改善されない。メリットのない制度であり早急に廃止すべきである。

賛成 渡邊 淳

県の広域連合が運営主体であり、町は徴収業務の中で総合的に取り組んでいる。

水道事業会計

反対 歌川 渡

受水量および受水料金が削減されたが、町民への還元がない。使用料金の引き下げのために預貯金の取り崩しを求める。

賛成 佐藤 衛

水需要の回復はまだ道半ばである。厳しい予算の中で設備改善事業が行われようとしている。

※公園墓地は

反対なく全会一致で可決

総括質疑

総括質疑とは、課ごとに質疑を行うが、十分な回答ではないと判断される場合に委員会の同意のもと改めて町長への質疑を行う。

通学路を含めた交通安全対策を

問 町長の施政方針では「人材育成」と「交通対策」が示された。共通する「人」の育成の基礎になる日頃の安全を担保することも重要である。

答 「通学路交通安全プログラム」のフォローや交通安全対策に対して町民からの強い要望もある。関係する建設課や教育総務課、総務課防災対策室への質疑では「事態の進展により補正予算化をしたい」との回答が中心であった。通学路を含めた道路事情を考慮した対策の考えを問う。

問 町長 通学路の安全対策は、学校単位の交通安全推進会議で行っている。学校やPTAを中心にして合同点検を行い、生徒への指導を含め実施している。昨年からの「通学路交通安全プログラム」のフォローは、4月に合同点検を予定している。その後の予算対応となる。今まで側溝蓋の設置やカーブミラー、路面ペイント表示などの対応をしてきたが、今後も適切な対応をしていきたい。

問 交通安全推進会議の開催は、いつか。
答 総務課長 年2回を予定している。

問 通学路の安全は、教育上の見地から子どもたち自らの参加も必要ではないか。
答 教育長 重要なことであり防災主幹や主任が中心となって、生徒の要望などを取り入れ情報を共有しながら交通安全マップの作成に参加させている。

問 各学校のマップが見守り隊に情報として共有されていない状況もあるようだが。
答 教育総務課長 見守り隊と学校は個別に情報の交換をしている。また区長との情報共有に努めたい。

問 点検結果で歩道の拡充等が必要な場合、用地確保などで住民の協力も必要になるのではないか。
答 町長 予想される地域は家屋が密集していることも考えられ非常に難しい問題である。

問 県道部分では、県への陳情も必要となり、計画的な改善案を公開することも必要ではないか。
答 全体を集約して検討したい。

会計名	平成28年度	平成27年度	前年度比較	採決の結果
一般会計	101億4300万円	167億8000万円	▲66億3700万円	賛成11：反対2
下水道事業	7億7200万円	9億7300万円	▲2億100万円	
国民健康保険	24億700万円	25億200万円	▲9500万円	
後期高齢者医療	1億8196万円	1億7338万円	858万円	
介護保険	15億710万円	15億4603万円	▲3893万円	
公園墓地事業	2024万円	2256万円	▲232万円	全員賛成

水道事業会計	収益的*1	収入	5億2490万円	5億4090万円	▲1600万円	賛成11：反対2
		支出	5億1503万円	5億816万円	697万円	
	資本的*2	収入	1億8642万円	4億8478万円	▲2億9836万円	
		支出	3億2608万円	7億1828万円	▲3億9220万円	

*1 収益的・・・経営に伴い、発生が予想される収入と費用

*2 資本的・・・将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入

議案審議

制定及び改正

国際交流

条例制定

●災害公営住宅維持管理基金条例
内容

災害公営住宅及び共同施設の整備、修繕及び改良等並びに地方債の償還のために、基金条例を制定するものです。

質疑

問 既存の基金（減災基金）や公共施設管理基金（減災基金）で対応できないか。

答 財政課長 基金の不十分が予想されるので、対応はできない。

討論

反対 歌川 渡

町公共施設管理基金条例では、福祉等の公共施設に係る大規模改修事業への対応もできるし、町減債基金条例では、地方債の償還に必要ない。

条例改正

●奨学資金貸付基金の一部を改正する条例
(修正動議)

内容

奨学資金の貸付対象者の拡大と、償還期間を設けない延長のため、所要の改正をするものです。

質疑

問 対象者の拡大と、償還期間を延長する事に伴い、次世代までの基金は大丈夫か。

答 動議提出議員 財政の収支は、担当部局で対応すべきで、進学したい学生に支援することが大切である。

問 多重債務の危惧も抱え、償還金の回収に苦労していることを考えれば、これ以上の期間延長は好ましくない。

答 多くの人は償還計画どおり返済している。採決の結果 賛成2 反対11 反対多数で否決

●奨学資金貸付基金の一部を改正する条例(原案)

内容

奨学資金の償還期間を延長するため、所要の改正をするものです。

討論

反対 歌川 渡

一部返済に関わる改善は評価する。しかし、貸付を受ける学生が、生活環境及び財政的支援のために、大学院までの拡大を望む。町が展望するグローバル人材育成事業は、学業に専念する学生への支援事業としては不十分であり反対とする。

賛成 佐藤 衛

本事業は、意欲的に教育を受けようとする多くの青少年に、町はできる限り支援するべきであると考えている。今回の、奨学資金貸付基金条例の改正は、進学する青少年に、償還期間（今までの5年から最長7年までの延長）の延長改正であり賛成とする。

採決の結果

賛成11 反対2 賛成多数で可決

基金条例の

災害公営住宅

奨学資金貸付

●公務災害補償等の一部を改正する条例

内容

地方公務員の災害補償法の改正に伴い、所要の改正をするものです。

●町職員の勤務時間、休暇の一部を改正する条例

内容

学校教育法の改正に伴い、所要の改正をするものです。

●町職員の給与の一部を改正する条例

内容

人事院勧告及び国の法改正に伴い、町職員についても同様の扱いとするものです。

●関係条例の整備に関する改正条例

内容

地方公務員法及び地方独立行政法人法の改正に伴い、町関係条例の一部を改正するものです。

採決結果

反対なく全会一致で可決



採決の結果

反対なく全会一致で可決

●都市計画税の一部を改正する条例

内容

都市計画事業財源の一部に充当するため、課税区域を改正するものです。

採決の結果

反対なく全会一致で可決

●指定地域密着型サービス事業の一部を改正する条例

内容

国の基準が改正されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。

採決の結果

反対なく全会一致で可決

●スポーツ推進委員設置の一部を改正する条例

内容

笹山地区の発足に伴い、定数条例を改正するものです。（14人を15人に）

採決の結果

反対なく全会一致で可決

選挙管理委員並びに補充員の選挙結果

選挙管理委員
委員 わかつまけんさく 我妻建作氏（東宮浜）
委員 ほし しちよ 星 七代氏（湊浜）
委員 やまもとまりこ 山本真理子氏（汐見台）
委員 わたなべしけんどう 渡邊俊道氏（花洲浜）

補充員 4名

任期は、平成28年3月15日より平成32年3月14日まで。

町道路線の認定

路線番号	路線名	起点	終点
1265	小田団地3号線	境山一丁目101-164	境山一丁目101-154
1266	小田団地4号線	境山一丁目101-171	境山一丁目113-26
1267	荒敷団地1号線	東宮浜字荒敷4-1	東宮浜字荒敷3-13
1268	荒敷団地2号線	東宮浜字荒敷4-1	東宮浜字荒敷4-1
2103	汐見台南二丁目19号線	汐見台南二丁目154-421	汐見台南二丁目154-423
2104	汐見台南二丁目20号線	汐見台南二丁目154-415	汐見台南二丁目154-417

町道路線の変更

路線番号	路線名	起点	終点
1139	小田団地1号線	境山一丁目2-5	境山一丁目101-154



●国際交流基金の一部を改正する条例

内容

姉妹都市との交流事業ほか、世界を舞台に活躍できる人材の育成のため、条例の設置目的を拡充するため所要の改正をするものです。

採決の結果

反対なく全会一致で可決

補正予算

支援臨時福祉給付金 低所得の高齢者等の福祉充実へ

平成27年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ18億5349万円を減額し総額を155億5600万円としました。補正の主なものは、震災関連への減額や漁港が復旧したことによる漁港災害復旧費の減額によるものです。歳入歳出それぞれ審議し原案のとおり可決しました。



高台団地（笹山地区）

問 高台移転の貸付分が増え、売り払い分が減った理由は、**答** 復興推進課長 当初は分譲が58%、借地は42%であったが、再建しやすいように定期借地計画の価格説明をしている中で変化していった。

問 低所得の高齢者等に一律3万円の給付とのことだが人数、対象年齢、時期は、**答** 地域福祉課長 賃金引上げの恩恵が及ぶにくい低所得の高齢者や障がい者、遺族年金受給者への支援である。対象者の詳細は広報に載せ、給付対象者には個別に通知を出し申請をしてもらう。

質疑

お も な 内 容

一般会計		補正額
歳入	繰越金（震災関連に）	▲16億6777万円
	漁港災害復旧費負担金	▲1億8400万円
	不動産売却収入	▲7597万円
	地方交付税	▲4717万円
	マイナンバー関連	3088万円
歳出	松くい虫伐倒駆除事業	▲1034万円
	公共施設管理基金費積立金	2億9万円
	臨時福祉給付金等給付事業	5631万円
	災害公営住宅維持管理積立金	4418万円
	児童福祉費	▲3763万円

※金額は千の位で四捨五入しています。

討論

一般会計補正予算

反対 歌川 渡

買い物弱者対策事業は時期尚早である。災害公営住宅維持管理基金に反対討論している。マイナンバーカードに係る費用が計上されている。以上ことから反対とする。

賛成 佐藤 衛

町長の議案説明や各担当課長からの詳細な説明を受けたとおり、各事業の増額及び減額は適正な補正であり賛成とする。採決の結果 賛成11 反対2 賛成多数で可決

臨時議会

1月26日に第1回臨時議会を開催しました。審議内容は次のとおりです。

●行政不服審査法に規定する機関の事務委託

問 宮城県への委託理由と経過は。
答 総務課長 第三者機関として独立性が必要であり、本町では人的配置が難しいことと、ここ10年位は行政不服審査法に基づき行政不服の申し立て事例はない。

質疑

反対 歌川 渡
各自自治体で設置することができるところから、本町の第三者機関設置を求め、県への事務委託に反対する。

討論

賛成 佐藤 衛

審査の透明性の確保を図ることから地方自治法に基づき第三者機関とし、公明性を確保するため県への事務委託に賛成する。議決結果 賛成11 反対2（歌川・木村）

工事 契約



工事名：町道代ヶ崎海岸線外1路線道路改良工事
契約先：(株)曲小小倉工務店
金額：7860万円
工期：平成28年3月31日

工事名：花洲浜地区下水道災害復旧工事
契約先：七ヶ浜復旧・復興建設工事共同企業体
金額：1億4040万円
工期：平成28年3月31日



工事 変更 契約



工事名：土地区画整理事業整備工事（代ヶ崎浜A）
契約先：(株)大政産業
金額：1億2827万円（3269万円の増額）
理由：地中排水路等の変更

工事名：土地区画整理事業整備工事（花洲浜）
契約先：丸勘建設(株)
金額：2億2554万円（1億1358万円の減額）
理由：側溝工事及び舗装工事等の変更

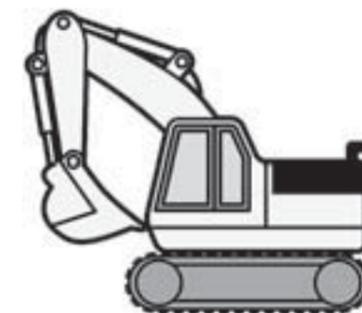


工事名：菖蒲田漁港海岸災害復旧工事
契約先：みらい建設工業(株)
金額：5億4901万円（5358万円の減額）
理由：防潮堤の長さ変更

工事名：菖蒲田浜海岸線道路改良工事（B工区）
契約先：中鉢建設(株)
金額：5053万円（239万円の減額）
理由：改良工事延長及び配水構造物工事の変更



工事名：町道吉田花洲線道路改良工事
契約先：日建工業(株)
金額：7428万円（602万円の増額）
理由：工事単価の改訂のため



委員会レポート

これも議会の仕事です

- ① 松ヶ浜小学校
屋上防水処理の修繕
- ② 汐見小学校
校舎壁面と屋上部の修繕
- ③ 亦楽小学校
校舎前面のひさしの撤去、修繕
- ④ 向洋中学校
空中通路のガラスの修繕
- ⑤ 七ヶ浜中学校
プール新設による校庭の今後の有効利用



改築が必要なトイレを視察

本委員会では、平成27年第4回定例会以降における閉会中の所管事務調査は「学校教育施設の環境整備について」としました。教育総務課、生涯学習課からの説明を受け、各学校を視察しました。その結果以下の改善が必要と判断します。

総務教育

学校教育施設の環境整備

学校施設全体としては、トイレ改修の必要性、また大規模災害時には避難所の役割を果たすことから、電源が失われた時や夜間の避難にも有効な蓄光型避難誘導マークを取り入れるべきです。以上のことを関係課に提言し、議長に調査報告書を提出して調査を終了しました。

委員長研修会

職員力の向上と地域貢献

総務・教育常任委員会 委員長 渡邊淳
地方創生時代の生き残りをかけ、職員と町民の総合力が必要ですが、距離感が感じられることがあります。距離感を縮める方策を地域貢献と休暇を組み合わせた制度として戦略的に取っている町があります。職員が地域貢献度の高い休暇を取った場合に、評価や休暇取得時の優先度などを付与する等の対応も必要と感じられました。翌日の講演では、「マスコミで問題となった議員」の事例から議会批判などの生々しい話があり、改めて議会の責任を強く感じ常任委員会の権限もしっかり確認できました。

震災復旧後の町道整備

産業建設・厚生 委員長 遠藤久和
管内における町域の差や道路状況に大きく違いがあり、本町の面積では不具合箇所の把握がしやすく大きな事故につながる問題は起きていない。現在の保守管理の継続が妥当と考えます。管内のある町では、他町へ向かう復旧工事車両が町道を通り、路面の破損が原因で車両破損訴訟等も起きています。一般競争入札対象の設定金額も話題になり、設計金額の違いはあるものの自治体の規模によるもので要綱に大きな違いはないようです。

宮城黒川地方町村会主催の委員長研修に、本町の2常任委員会委員長が出席し、研修を行ってきました。

3月定例会 提出議案採決結果一覧 (3/2~3/16)



3月定例会では、条例改正や平成27年度各種会計補正予算および平成28年度一般会計予算等の議案と閉会中の継続調査申出書（総務・教育常任委員会、産業建設・厚生常任委員会）の審議をしました。賛否が分かれた案件を採決一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。なお、議案名は略して記載しています。

●賛否が分かれた議案

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	仁田 秀和	木村 稔	熊谷 明美	佐藤 壮一	安倍 敏彦	佐藤 衛	渡邊 淳	遠藤 久和	鈴木 初雄	我妻 周悦	佐藤 梶信	歌川 渡	岡崎 正憲	大町 睦夫
町災害公営住宅維持管理基金条例	10	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町奨学資金貸付基金条例の修正動議	10	2	11	否決	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○
町奨学資金貸付基金条例の一部改正	10	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度一般会計補正予算（第5号）	13	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度一般会計予算	8	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度下水道事業特別会計予算	8	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度国民健康保険特別会計予算	8	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度介護保険特別会計予算	8	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度後期高齢者医療特別会計予算	8	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度水道事業会計予算	8	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 議長（大町睦夫）は採決に加わらない。

●全会一致の議案等

条例改定	掲載ページ	補正予算	掲載ページ
○公務災害補償等条例	11	○平成27年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）	
○町職員の勤務時間、休暇条例	11	○平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	
○町職員の給与条例	11	○平成27年度公園墓地事業特別会計補正予算（第2号）	
○町関係条例の整備に関する条例	11	○平成27年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	
○行政不服審査法に伴う条例	11	○平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
○都市計画税条例	11	○平成27年度水道事業会計補正予算（第2号）	
○指定地域密着型サービス事業条例	11		
○指定地域密着型介護サービス事業条例	11		
○国際交流基金条例	10		
○スポーツ推進委員設置条例	11		

契約関係ほか	掲載ページ
○工事請負契約「町道代ヶ崎海岸線外1路線道路 改良工事」	12
○工事請負契約「花洲浜地区下水道災害復旧工事」	12
○工事請負変更契約「土地区画整理事業（代ヶ崎浜A地区）」	12
○工事請負変更契約「土地区画整理事業（花洲浜地区）」	12
○工事請負変更契約「菖蒲田漁港海岸災害復旧工事」	12
○工事請負変更契約「菖蒲田海岸線道路改良工事」	12
○工事請負変更契約「町道吉田花洲線道路改良工事」	12



うたがわ わたる
歌川 渡

多子世帯の保育料軽減を図れ

町長 国の動向を見極め対応したい

問 国の新年度予算に、多子計算に係る年齢制限を廃止し、第2子の保育料を半額、第3子以降を無料とする法案が出された。先行して4月から実施する考えはないか。

答 町長 年収360万円未満に対し、保育料軽減策を国で検討していることは承知している。動向を見極めながら、対応していきたい。



今後の健康に不安が



子育てできる支援を求めます

被災された後期高齢者の医療費の一部負担金免除も継続せよ

町長 国からの財政支援がないと継続は難しい

問 被災された国民健康保険加入者への免除は継続された。後期高齢者医療費の一部負担金免除の継続を求めるにあたり、次の点を伺う。

①免除対象者数は
②免除費用は
③委任払いで実施できないか

答 町長 宮城県後期高齢者医療広域連合に継続を求めたが、実施しないと決定した。町単独での実施は難しい。

①161人
②1015万円
③国の支援がないと1割分が町負担となる

災害公営住宅入居者の負担軽減を図れ

町長 現時点で負担軽減の考えはない

問 町営住宅条例第20条4項の設備は、賃貸者に住宅を提供するための必要な施設整備であり、廃止する考えはないか。

答 町長 他市町村の住宅条例でも、同様の条文を規定している。本町だけが入居者に負担を負わせているのではない。

問 共益費の一律負担を見直す（家賃に比例した額に）考えはないか。

答 共益費負担は公平であるべきと考えはない。見直す考えはない。

問 共益費の共用施設費用の入居者負担分を廃止する考えはないか。

答 受益者負担の原則、町全体のサービスの公平性から、一定程度の負担はやむを得ないと考える。現時点で、負担軽減の考えはない。



ズバリ

町政を問う

一般質問一覧表

3月定例会の一般質問は、15日と16日の2日間行い、7人が活発な議論を展開しました。内容は質問者の原稿を原文に近い形で17ページから23ページに掲載しています。なお、タイトルは通告のとおりです。

歌川 渡 …… 17ページ

- 多子世帯の保育料軽減を
- 被災された後期高齢者の医療費の窓口一部負担金免除の継続を
- 災害公営住宅入居者の負担軽減を

渡 邊 淳 …… 18ページ

- 松くい虫対策事業と森林整備計画について
- 地域ブランド化認定制度の創設について

佐藤 梶信 …… 19ページ

- 町の文化財 鼻節神社を活用し観光振興の推進を

熊谷 明美 …… 20ページ

- 「認知症カフェ」の設置とサポーター養成について

佐藤 衛 …… 21ページ

- 東宮浜地区公民分館の改築か地区避難所の新築について

木村 稔 …… 22ページ

- 汐見小学校通学路の防犯灯の腐食に修理と対策を求める
- 小・中学校の35人以下学級の実施をする考えはないか

佐藤 壮一 …… 23ページ

- 地区避難所の駐車場の増設並びに旧公民分館の跡地利用について
- 通学路について

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載されている資料を配布しています。



さとう かのぶ 佐藤 梶信

鼻節神社を活用し観光振興を

町長 本町が舞台になれば 県との連携を検討する



神秘的な雰囲気を醸し出す鼻節神社



鼻節神社を舞台としたアニメ「かななぎ」
(©一迅社/アニプレックス かななぎDVD1巻 表紙より)

問 宮城県は、台湾からの観光客誘致事業の一環として人気アニメ「ウエーク・アップガールズ」の聖地巡礼と呼ばれる訪問旅行を企画する方針を示した。これらの事業に合致するのが、アニメ「かななぎ」の舞台となった鼻節神社である。県と連携し、鼻節神社や花刈灯台を活用して観光振興を推進する考えはないか。

答 町長 3月末に台湾からのツアー客を海の駅「七のや」を経由させたい旨県から打診があったが、その後の連絡はない。その要因は、今回のアニメシリーズで本町が物語の舞台となっていないこと。今後、第2シリーズで明らかに舞台となり放送されれば県と連携しての誘客を検討する。

問 海の駅を含めたにぎわいゾーンに半日でも滞在してもらうためにも、上陸して神社や灯台を周遊させる貸切りの観光船を就航させる考えはないか。

答 「七のや」にパンフレットやパネルを置き、神社や灯台、その周辺を周遊して滞在してもらえるようにしたい。観光船の就航は町でも魅力を感じている。船会



わたなべ あつし 渡邊 淳

松くい虫から守る松林の公表を

町長 これからも町民の理解を得られるようにしたい

問 地球温暖化防止や生物多様性の保全など、森林の役割に対する社会的な関心が高まっている。松くい虫の被害が進行しており地域住民も危機意識を高めている。守る松林と被害を拡大させる恐れがある松林を分かりやすく公表し、森林整備計画と松くい虫対策事業を認識しやすいようにするべきではないか。

答 町長 地域森林整備計画は広報等で周知はしていない。松くい虫防除事業では実施前に薬剤の影響を防ぐための対策を示した文書を回覧している。松くい虫対策全般では住民には一定の理解は得られていると思うが、さらに理解を得られるよう今後検討していく。

問 伐採後には松くい虫に強い松抵抗性松の植林事業を積極的に取り入れ森林の再生を促進する考えはないか。

問 天然更新で抵抗性松が芽生えることは考えにくい。天然更新の範囲を見直し、所有者の財産だけではないという認識を持って植樹を促進する考えはないか。

答 本町の森林整備計画で松は基本的に天然更新と位置づけられている箇所が大部分である。松林の管理が良ければ伐倒後には自然に芽生え松林が保全されていく。民有林の管理は適正な管理とはいいがたい。弱体化した松林の復活策として所有者に松以外の樹種や松くい虫抵抗性松への転換を周知していく。

答 山林が荒れていることは判っている。所有者が計画を作り森林組合や県、町に相談し国の補助金を活用し管理すべきだが所有者にとって経済負担が多い事もある。考えはないか。

問 町長の施策目標にある地域ブランド化の認定制度創設は、荒れた里山の森林整備から町のブランド化が始まると考える。農水省で進めている地理的表示保護制度（GI制度）を活用し町のブランドを作りだす考えはないか。

町長 制度が有効か 生産者と相談する

有効なものかを、実施主体になると思われる生産加工業者と相談し検討する必要がある。本町の地域ブランド推進は認定制度を含め、今後関係機関や関係者の協力を得ながら進めていく。

問 保全する森林と被害を広げる可能性を持つ森林の面積も公表することを検討の中に加えないか。

答 産業課長 その件も含めて検討していく。



植林作業

問 標高が低く面積も小さい町なので森林本来の機能を向上させ流域から流域まで設定したブランド化の方法は考えられないか。

答 広範囲な視点でのブランド化は考えていない。町の考えは販売戦略や特産品の周知PRの視点である。

東宮浜集会所の新築を望む

町長 財源確保に取り組んでいる



さとう まもる
佐藤 衛

問 東宮浜地区公民分館は建築後35年が経過している。平成22年11月の耐震診断結果では「補強および改修必要」との判断であった。補強および改修工事をする間もなく、翌年の3月11日の東日本大震災によって、トイレや壁、屋根等が破損し家屋自体が傾いている。地区としては、公民分館であれ、避難所であれ地域のコミュニティセンターとしての集会所は必要不可欠な施設であり、新築等の町の助成を求める。

答 町長 地区からの要望を受け関係各課等で協議し、地区避難所建設のための財源確保に向けて復興局に打診する等取り組んでいる。

問 建築士の資格を持つた町長としては、被災した建物全体を見て今後このまま集会所として使用できると考えているか。

答 昭和56年3月に建築された建物であり、決して丈夫な建物ではない。地盤の沈下や基礎部分の剥離、ひさしが倒れている等老朽化も進んでいる。津波浸水区域を考えると、現在地に地区避難所建設は大変難しい。

問 どうしても、該当する補助事業がない場合は、地区分館の高台建設に伴う心分な助成の考えはないか。

答 まずは地区として、公民分館なのか、高台への地区避難所なのかを決めてほしい。また、高台への公民分館を計画すると、高台用地の取得と建築に多額の費用を要する。町内の避難所建設には、1箇所当たり約8000万円程度かかっている。

問 地区の区費徴収世帯は、230世帯である。高台への公民分館建設になると、区民の費用負担は難しいと考えられる。補助金交付要綱では、半額負担が原則であるが、地区の財政状況も理解してほしい。

答 東宮浜だけ町がルール分以外も負担するのは難しいので、地区も負担していただくことになる。地区のためにも引き続き関係機関と連携し財源確保に努める。

町としては、関係各課が連携しチームとして対応していく。担当窓口は総務課とし、今後も東宮浜の財政状況等も含めて詳しく事情を聞き対応したい。



新築が望まれる東宮浜公民館



くまがい あけみ
熊谷 明美

「認知症カフェ」の設置を

町長 設置に向けて検討している

問 高齢化に伴い認知症の人が、9年後に高齢者の5人に1人の割合に達すると考えられる。国が策定した「新オレンジプラン」には、認知症の人やその家族などをキメ細かく支える施策が盛り込まれている。本町では、認知症の人とその家族などの、在宅生活を孤立させない観点から本人やその家族が交流する認知症カフェの設置の考えはないか。

答 町長 本町においても、現在、認知症の方は564人である。「新オレンジプラン」の7つの柱にもとづき認知症対策を推進していく。認知症地域支援推進員の資格を持つ地域包括支援センターの職員と介護者家族で仙台市内のカフェ

に視察に行くなどして設置に向けて検討している。

問 家族交流会の開催の考えはないか。

答 介護者家族の会を対象に、家族カフェを年7回開催している。

問 NPOや福祉団体、ボランティア団体など、カフェを主催する団体をどう選び、どう呼びかけていくのか。

答 健康増進課長 平成28年度にできるグループホームは認知症に詳しい専門家がいるので、カフェの設置は十分考えられる。

問 開催の単位や、開催の回数は考えているのか。

答 町長 まだ決定していない。まずは1団体、月1回程度の開催と考えている。



認知症を正しく理解しよう

問 認知症カフェの開催を、広く情報提供するための、広報の仕方などを考えているか。

答 地域包括支援センターで把握している方への直接的な案内や通所介護施設への通知や町広報紙、ホームページなどを考えている。

問 認知症を正しく理解し、地域で支える認知症サポーターの養成講座は、これまで何回開かれ、何人がサポーターになっているか。また、今後の予定とサポーターの活動の場をどう考えているか。

答 過去10年間で20回開催されている。講座は引き続き開催し、多くの人に受講してほしい。サポーターの活動の場は、日常生活の中での見守りが活動の場と考える。





さとう そういち
佐藤 壮一

要害・御林地区避難所の 駐車場増設を

町長 敷地内広場を有効利活用されたい



駐車場が足りない（要害・御林地区避難所）

問 町内各地区避難所は、多いところで30台の駐車場を設置してあり温度差が感じられる。特に、要害・御林地区は、地区住民や区長から駐車場が足りないという声を聞いている。

世帯数も増え夏祭りやイベントなど避難所を利用する機会が増えているので、現在の駐車場5台ではあまりにも少ない。増設の考えはないか。

答 町長 今のところ白紙であるが、今後検討したい。

問 旧要害公民分館の跡地利用は。

答 町長 今のところ白紙であるが、今後検討したい。

問 復興推進課長 砂利敷部分は、当初倉庫を置くことになっていた。今後検討したい。

問 広場は夏祭りの時、出店や資材搬入などで車を利用する人が多い。広場の駐車は無理と考えられるが、砂利敷部分を有効利用するためにアスファルトにする考えはないか。

答 町長 地区住民との意見調整を図るため、ワークショップを開き現在のレイアウトになった広場を利用すれば、全体で30台の駐車は可能とみている。



きむら みのり
木村 稔

防犯灯腐食への対策を

町長 対処方法を検討し安全面に配慮していく



腐食した防犯灯の根元

問 汐見小学校西門周辺の防犯灯の腐食は鉄柱に穴が開いている。そのまま放置すれば、さらなる腐食を拡大させ倒壊する危険性がある。早急な対応が必要であるが対策は。

答 町長 今すぐ倒れる状況ではないが、そのまま放置しておくとなりが進む安全面が懸念される。専門家による現状調査や補修方法の検討が必要であり、今後は町内にある同じような構造の防犯灯についても現状を把握して検討していく。

問 腐食の原因の1つに動物の糞尿による可能性が高い。今後の改修にあたっては、土台をコンクリートなどで高くなる。専門家による現状調査や補修方法の検討が必要であり、今後は町内にある同じような構造の防犯灯についても現状を把握して検討していく。

問 看板等によるペットマナーの向上を促す考えはないか。

答 町長 狂犬病予防注射を実施する際に、ルールの指導、お散歩袋等を配布し、マナーの向上を促している。町職員、塩釜保健所の職員が現場に出向き改善に努めている。

35人以下学級の実施を

町長 40人を基準でクラス編成をしている

問 35人以下学級の実施で、児童・生徒に対して行き届いた教育環境の提供ができ、教師が児童生徒の1人ひとりに対し目配り指導できると考えているか。

答 町長 単純に考えると目配り指導するのは楽になるが、少なければ少ないほど効果があるわけではない。教師の資質の問題もあるので多い少ないの問題ではない。

問 県内市町村で35人以下学級を実施している自治体はあるのか。

答 町長 実際に実施している市町村に確認したところ、年間600万円である。教職員増員にかかる費用は全て市町村の負担となることから、七ヶ浜町独自の35人以下学級の実施は考えていない。

通学路の整備を急げ

町長 可能な所から早急に対応したい

問 君ヶ岡公園には松くい虫被害木があり、役場南側の坂道には通学路の頭上にツルや枝がある。子どもたちの安全を考え、危険性のある倒れそうな木や枝などは早急に伐倒処理をし、子どもたちが安心・安全で通える通学路を整備する考えはないか。

答 町長 君ヶ岡公園入り口の松くい虫被害木は、6月末に伐倒処理する。通学路のツルや倒れそうな木は伐倒処理をする。

問 新入生も通るので早期に伐倒処理を。

答 町長 子どもたちの生命を守るため、今後もパトロールを実施して危険箇所は伐倒処理をする。



横断歩道が必要では（御林入口）



議会報告・懇談会を 開催します



	5月28日 (土)	5月29日 (日)	
時 間	会 場	会 場	担 当
午前 10時～11時30分	要害・御林地区避難所	湊浜地区避難所	第1班 歌川 渡 渡邊 淳 佐藤 衛 仁田 秀和
午後 2時～3時30分	代ヶ崎浜地区避難所	笹山地区避難所	
午後 4時～5時		生涯学習センター前 仮設住宅集会所	
午前 10時～11時30分	東宮浜公民分館	菖蒲田浜地区避難所	第2班 鈴木 初雄 佐藤 梶信 木村 稔 佐藤 壮一
午後 2時～3時30分	花洲浜地区避難所	境山公民分館	
午前 10時～11時30分	遠山地区避難所	汐見台第2分館	第3班 我妻 周悦 遠藤 久和 熊谷 明美 安倍 敏彦
午後 2時～3時30分	吉田浜 コミュニティセンター	松ヶ浜地区避難所	

※議会だよりNo.127と広報しちがはま5月号を持参願います。
対象地区以外の方でも受け付けますので、都合の良い会場にお越しください。

**皆さんの声は
こうなりました**

平成27年12月に開催した第9回議会報告・懇談会の、その後を一部抜粋してお知らせします。

要望
議会報告会の構成メンバーを同じにして、同じ地区を担当してほしい。

要望
全区住民の意見・要望を直接聞く機会と考えるローテーションさせており、前回の問題点のまとめを持参し対応している。

要望
区画整理で道路にかかっている当事者に説明がない。町から個別な説明がほしい。

町の考え方
仮換地指定時に個別説明会を実施してきた。疑問点は個別に対応し、できる範囲での調整で理解を得たい。工作物等の移転補償対象者には、対象物件の内容や金額での理解を得られてからの契約締結にしたい。

元気にはばたく わが町のサークル

Q 設立時期と名称の由来は。
A 平成7年に花と共にあゆみ続けるようにと名付けました。

Q 活動状況は。
A 毎月2回、第2・第4金曜日に、自宅で行っています。花あゆみのお花は、普段の生活に合わせて季節を生けております。時々、お庭のお花を切って生け

Q メンバー構成は。
A 8人です。



お花をかこんで

花あゆみ
代表 金森裕美子 さん(汐)



すてきに生けましょう

Q 今後の目標は。
A お花を通して、お互いの毎日が楽しくなれて、嬉しくなる時間を一時でも暮らせればと思うと共に、いつまでも花とあゆみたいと思います。

Q 年何回の展示ですか。
A 文化協会主催の文化祭に展示しています。

ることあります。お花の一本一本に生命をもらって感謝しています。

吉田書道愛好会

はりうたかお
代表 針生孝夫 さん(吉)



Q 活動状況は。
A 会員の都合の良い日を確認して、毎月2回水曜日に、中央公民館で行っています。

Q メンバー構成は。
A 4人です。

Q 今後の目標は。
A 会員増大が目標です。きれいな文字が書きたい方や友人の輪を広げたい方々、会員募集中です。

Q 議会や町に望む事は。
A 議員さんのサークル訪問は大歓迎。ざっくばらんな話が出来たいです。

Q 年何回の展示ですか。
A 文化協会主催の文化祭で皆さんに見ていただいています。



書を楽しみます

文化協会



福祉避難所の

震災時は、50人位を受け入れました。今後も、福祉避難所としてもお役にたてればと思っています。



七ヶ浜町海の宮デイサービスセンター
金澤哲男 施設長



安心して避難できますね

☆福祉避難所として締結した介護施設

七ヶ浜町海の宮デイサービスセンター、第二清楽苑、七ヶ浜町デイサービスセンター、七ヶ浜自生苑、デイサービス鈴乃音

☆福祉避難所として指定している施設

老人福祉センター

☆障害者福祉避難所として締結した施設

あさひ園

※福祉避難所とは

災害時に、高齢者や要介護者、障がい者の安心・安全が守られるよう、避難所を指定し、迅速に避難できる施設。



あさひ園



老人福祉センター



デイサービス鈴乃音



七ヶ浜自生苑

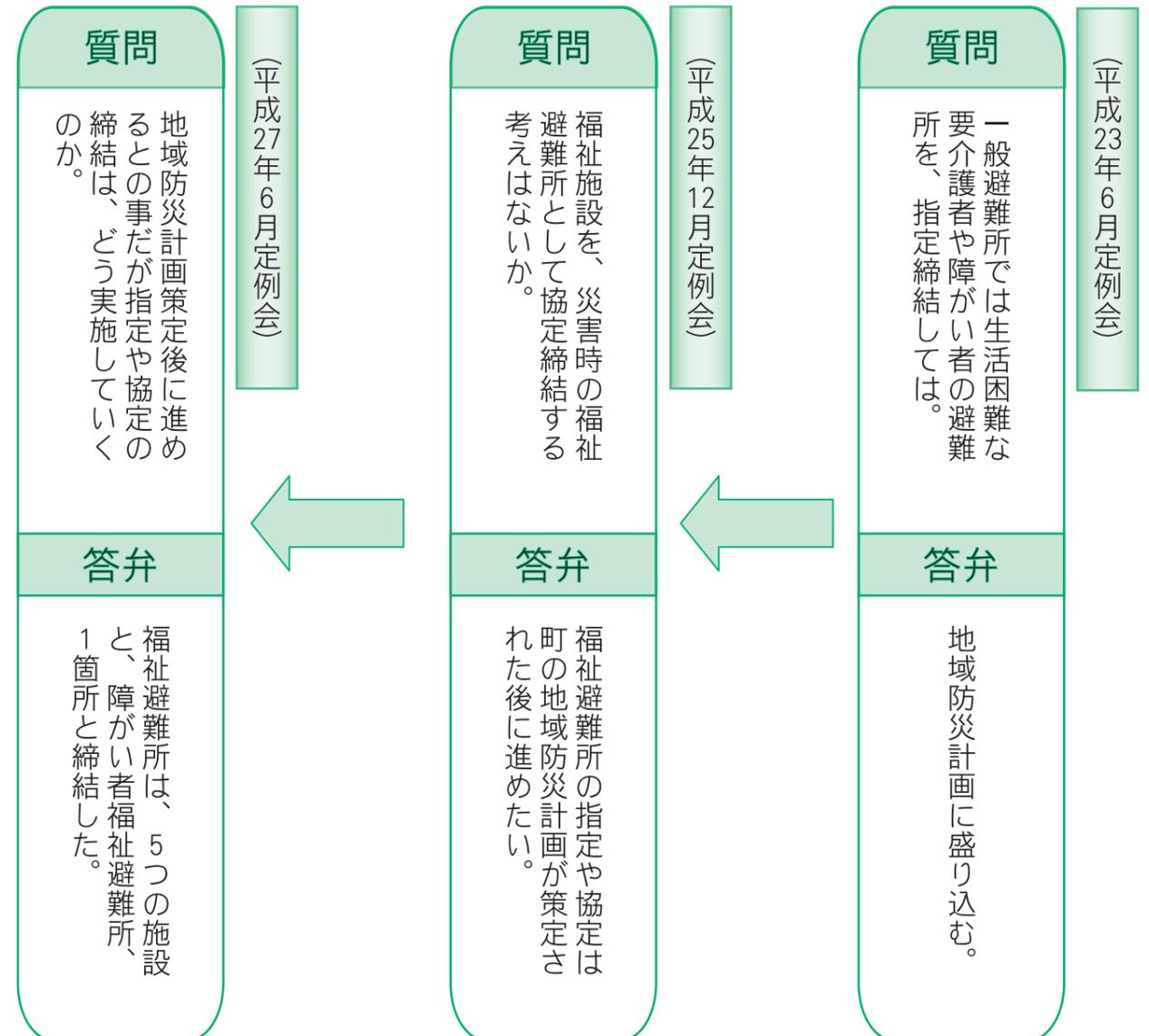


第二清楽苑
七ヶ浜町デイサービスセンター



七ヶ浜町海の宮デイサービスセンター

協定締結を実現！





この度の熊本地震におきまして、
被災された皆様に心よりお見舞い
申し上げます。

七ヶ浜町議会議員一同

クイズ？

＜3択から選んでね＞

問1 平成28年度の特定健康審査の自己負担はいくらでしょうか。

- ① 無料 ② 500円 ③ 1000円

問2 菖蒲田海水浴場のプレオープンの予定は7月何日からでしょうか。

- ① 25日 ② 29日 ③ 31日

問3 町営住宅使用料の軽減措置の期間は最大何年ででしょうか。

- ① 1年 ② 5年 ③ 20年

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、
議会へのご意見を書いてお送りください。

(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を
進呈します。

あて先：〒985-8577七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1

七ヶ浜町議会事務局 議会だより係

Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：平成28年5月14日 (当日消印有効)

前号の答え：問1 ③ 問2 ③ 問3 ②

当選者：赤間 晴人さん、北野 洋子さん
鈴木 政夫さん

議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は6月8日開会予定です

詳しくは議会事務局まで TEL357-7435
または、町ホームページ「町民便利帳」を
ご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

表紙に寄せて

今回の表紙は、平成24年4月25日発行の議会
だよりに登場した阿部^{いちか}一花ちゃんです（平成23
年3月11日生まれ）。大震災のあの日、未来を
信じ、希望を持って生まれて来てくれたひとりの
女の子。一花ちゃんに再び会いに行ってきました。



(平成24年4月発行議会だよりNo.111掲載写真)

一花ちゃんの母

阿部^{かすみ}香紀さん（境山）にインタビュー

Q 一花ちゃんは元気に健やかに育っていますか。

A 5歳になるまで大きなケガや病気もなく元気に育ってくれています。

Q 成長で一番嬉しいことは。

A 出来ることが増えて会話も大人並みになり、
意思疎通ができるので、一緒に遊べることが
増えました。

Q 子育てで困っていることは。

A おしゃべりが達者な分、わがママを言うこと
が多く、自分の思い通りにならない時に言い
聞かせるのが大変です。

Q 将来の夢を話したりしますか。

A 今のところ、大きくなったらケーキ屋さん
になりたいと言っています。

Q 未来の一花ちゃんに望むものは何ですか。

A これからも元気にいろいろなことに触れて興
味を持って楽しく過ごしてもらいたいです。

編集後記



◆桜の季節が過ぎ、夏が
間近です。夏といえば海。
あの震災以来、海開き
ができませんでした。今
年は10日間限定ですが菖
蒲田海水浴場をプレオー
プンする予定です。少し
ずつですがうみの駅の開
店や海水浴場の再開決定
で、大震災からの復興を
強く実感し喜びがこみ上
げてきます。

◆今回の議会だよりは
かがでしたか。3月議
会は予算審議で内容が盛り
だくさんでした。だから
こそ、わかりやすくする
ため丁寧に新たな気持ち
で編集作業に取り組みま
した。

議長	大町 睦夫	副議長	佐藤 敏彦	委員	熊谷 明一	委員	木村 稔	委員	仁田 秀和	副委員長	佐藤 衛	委員長	岡崎 正憲	議会広報編集特別委員会	木村 稔
発行責任者	安部 敏彦														